

手書きの中にある不便益

国語科では、年末に書写の授業を五回にわたって行いました。その集大成として冬休みに書き初めを書いてきてもらいました。すべての字に目を通しましたが、授業中に提出してもらった時の字とは大きく変わり、努力の痕跡が目に見えるような感覚になりました。一生懸命取り組んでもらえてとてもうれしいです。

「書は人なり」という言葉があります。意味は「書には人柄がにじみでる。」というものです。字が上手いから良い人で、字が上手くないから悪い人という意味ではありません。その人の個性や性格、強さ、繊細さが書写の字形、線の強弱、筆圧にあらわれるということです。皆さんの字はどんな字ですか？この冬の書写を通じて、自分の字と向き合ってもらえたらうれしいです。

現在国語科では『「不便」の価値を見つめ直す』という単元を行っています。その中に不便だからこそ得られるよさ「不便益」という言葉が登場します。書写は「不便益」の事例の一つだと思います。ICTが発達した現代だからこそ、書写や手書きの大切さや温かさを皆さんと一緒に認識していきたいなと感じました。(福島)

～特別支援教室の話～1/22 朝礼にて

1月22日朝礼で、特別支援教室について、本校ののぞみ教室の先生からお話がありました。以下はその時にお話いただいた内容です。思い返して、今一度、考えてみましょう。

今日は、皆さんにのぞみ教室について紹介したいことがあり、このような機会を設けていただきました。

まず、今から一つだけ、やってほしいことがあります。

目を閉じても開けても構いません。頭の中に、○を一つ描いてください。次に、その○の上に、○を一つ描いてください。

どう描いたかは、人それぞれだと思います。上に重ねた人もいれば、中に入れた人、少しずらした人もいるかもしれません。今、私は、同じ言葉で、同じ指示を出しました。それでも、みんなの頭の中は、きっと同じではありません。人は、同じ言葉を聞いても、同じように考えるとは限りません。

人には、いろいろな考え方があります。イメージで考える人、言葉で考える人、形や動きで考える人。

これは、どれが正しいとか、間違っているとかいう話ではありません。ただの「違い」です。

学校の中にも、いろいろな学び方があります。教科書を読んで理解する人もいれば、図やカードを使うと分かりやすい人もいます。それと同じように、人との関わり方も、一人一人違います。たくさん話すのが得意な人もいれば、静かに話を聞くのが得意な人もいます。のぞみ教室は、そうした学び方や考え方の違いを大切にする場所です。特別な人が行く場所でも、ズルをしている場所でもありません。その人に合った方法を選んでいるだけです。

そして、最後に一つだけ、はっきり言います。人には、いろいろな学び方があります。それは、どれが上で、どれが下という話ではありません。だから、のぞみ教室を馬鹿にすること、学び方の違いを笑うことを、私は絶対に許しません。(裏に続く)

今は、皆さんは中学生で、価値観や環境が比較的似た集団の中で生活しています。しかし、社会に出ると、本当にさまざまな人と関わることとなります。晴海西中学校の教育理念である「5つのわ」を大切にしながら、人の違いを認め、尊重し、切磋琢磨し合える、そんな素敵な人になってほしいと思っています。その願いを込めて、今日はこの話をさせていただきました。最後まで聞いていただいてありがとうございました。

～校外学習のこと～

2月10日(火)の校外学習において、班ごとにコースをつくっています。1月20日(火)にコースづくりの説明会がありました。班ごとにテーマを決めて、テーマに沿った見学地を決めます。次に見学地にコース作成上のルール(勝どき駅の集合/出発時間、昼食場所に到着する時間、勝どき駅に戻ってくる時間など)に従って、コースを作っていきます。どの地下鉄に乗るのか、何時の電車に乗るのか、ホームからどのように見学場所に行くのか、どれくらいの時間が必要なのか、乗り換え時間は考えているか、見学料はいくらなのか。考えなければならないことはたくさんあります。班長、コース係、会計係、学習保健係の一人ひとりが自分事として、役割を担ってください。27日(火)がコース作成終了日、会計提出日です。しっかり丁寧に、でもテキパキと考えていきましょう！(大野)

～今後の予定～校外学習に向けて！

月	曜	学校行事	①	②	③	④	昼	⑤	⑥
26	月	朝礼、①コース作成(2)、(3年都立推薦入試)	学	○	○	○	◆	○	○
27	火	[B時程]⑥コース作成(最終)、(3年都立推薦入試)	○	○	○	○	◆	○	総
28	水		○	○	○	○	◆	○	
29	木		道	○	○	○	◆	○	○
30	金	[B時程]⑥しおり読み合わせ・しおり記入	○	○	○	○	◆	○	総
2	月	朝礼、①⑥チェンジ、①しおり読み合わせ(2)、(3)	○	○	○	○	◆	○	学
3	火	[C時程]③⑥カット	○	○	○	○	◆		
4	水		○	○	○	○	◆	○	
5	木	[B時程]⑦委員会	道	○	○	○	◆	○	○
6	金	[B時程]⑥⑦漢字検定	○	○	○	○	◆	○	○

～保護者のコメントから～

○先日入学したと思ったら、月日が経つのは速いものです。3年間をあっという間に過ぎないよう、目標を持って、学習に部活に頑張ってください。(A組)

○「時間の使い方を見直す」については、先生方からも生徒に対し、どういう意識が対峙なのか、どう見直すことが求められることなのかを伝えてもらいたいと思います。親からも伝えるようにしますが、教育の一環としてお願いします。(D組)

◎「光陰矢の如し」。時間は全員に与えられている平等なものです。1日は24時間。自分の時間を有効に使う必要があります。「時間の使い方を見直す」とは何をすることなのか。具体的には、①(現状を知るために)書き出す、②(いらぬ時間を)仕分ける、③入れ替える、の3つの作業をしてみましょう。つまり、時間の使い方を見直すとは、「もっと勉強なさい！」と自分を追い込むことではありません。「やりたくないことをサッサと終わらせて、自分のやりたいことを思い切りやる時間を増やすための作戦」と思ってください。

キリトリ

【1学年だよりコメント欄(1/23)】()組()番 生徒氏名()
PN()(掲載不可)